

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)、旧閑谷学校世界遺産登録検討専門委員規則
事業開始年度	平成14年度から		
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
	中項目 基本計画	03	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち
	小項目 施策	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承
事務事業名	02	旧閑谷学校世界遺産登録推進事業	
問合せ先	担当課(室)	生涯学習課	
	職・氏名	課長代理 横山裕昭	
	電話	0869-64-1841	
	このシート作成に要した時間	2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	旧閑谷学校や世界遺産に興味関心がある人。	
目的(何のために)	旧閑谷学校の建造物とその創学の精神を受け継ぎ、未来の世代へ継承するために世界遺産への登録を目指す。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会が他の民間団体と積極的に協力し、応援活動を盛り上げる。	

事業の実績			優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	
	閑谷学校世界遺産登録推進委員事務事業	旧閑谷学校の世界遺産登録推進へ向け、シンポジウムや講座などを開催し、広報活動に務める。	○
	旧閑谷学校世界遺産登録推進事務事業	専門委員の会議を開催し、提案書案を作成する。関係諸機関と調整を行う。	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	2,461	1,711	2,215
	必要人員費	人	0.97人	0.66人	0.72人
	事業費	千円	8,315	5,431	6,984
決算額	国県支出金	千円	10,776	7,142	9,199
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他()				
一般財源		10,776	7,142	9,199	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	人	12	5	12
	対前年比	%	-	41.7%	240.0%
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円	0	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
世界遺産フォーラム(シンポジウム)参加者数(新指標)	目標値(A)	200	200	200	200
	実績値(B)	194	200	110	到達目標値
	達成率(B/A)	97.00%	100.00%	55.00%	200
成果指標設定の考え方・式や説明					
世界遺産について理解を深めてもらい、賛同していただける方を増やす必要があるため、成果指標にした。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や高い 高い 低い 低い C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や高い 高い 低い 低い C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や高い 高い 低い 低い C	

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	旧閑谷学校の国内暫定一覧表への記載を目指すため、国の理解が得られるよう、報告書「学びの原郷 閑谷学校」を作成し、文化庁へ提出する。25年度に旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会で作成したホームページを活用し、情報提供の拡充と関係機関・団体との連携を強化する。今年度県内で開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」は国内外の皆さんに広く情報発信する機会ととらえ積極的に取り組む。						

総合評価	
旧閑谷学校世界遺産登録検討専門委員の委嘱を行い調査研究を進め学術的な裏付けができてきた。さらに、閑谷学校の普遍的価値や世界遺産への取り組みや、その他の資料をまとめた報告書「学びの原郷 閑谷学校」を作成し、文化庁へ提出した上で今後の取り組みの方向性を検討する。旧閑谷学校の価値をより多くの人に知ってもらうため旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会への補助による広報活動や講座、フォーラム等は継続するとともに、ホームページ等を通じ情報発信を拡充できている。今後さまざまな機会をとらえ研究成果や活動そのものを多くの人に知ってもらい、支援者を増やす必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い や高い 高い 低い 低い C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
取組目標	平成24年4月に報告書「世界遺産暫定一覧表への追加記載に係る課題に対する検討報告 概要」などを文化庁へ提出し、10月に文化庁へ説明に行った。文化庁から「旧閑谷学校が単独で世界遺産に相応しいことが分かるように国内外の資産と比較研究する」「世界遺産登録に向けた明確な戦略を考える」などの指摘があり、これらについて作業が進めば再度報告を聞くとのことであった。世界遺産登録を取り巻く状況や26年度に提出する報告書「学びの原郷 閑谷学校」の結果を考慮して、関係団体等と協議し今後の方向性を検討する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら